

市では、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんが納めた税金などがどのように使われているのかをお知らせしています。
 今回は、平成27年度の決算概要をお伝えします。
 問い合わせ 財政課 ☎074-6063211

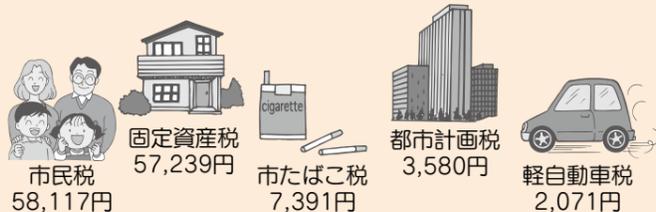
一般会計

市の基本的な経費を取り扱う会計

市の財政を1人当たりで換算すると…

※人口144,855人（外国籍のかたを含む・平成28年3月31日現在）で計算

市民の皆さん1人当たりが負担したお金 **128,398円**



市民の皆さん1人当たりに使われたお金 **356,920円**



市税（市民の皆さんが負担したお金）の内訳は、市民税84億1,860万円、固定資産税82億9,139万円、市たばこ税10億7,064万円、都市計画税5億1,864万円、軽自動車税2億9,992万円です。

市税のうち都市計画税は、都市計画事業（道路や下水道など都市計画施設の整備に関する事業）または土地区画整理事業に要する費用に充てるために課税される目的税です。平成27年度は、土地区画整理事業や下水道事業の財源として活用しています。

歳入のポイント

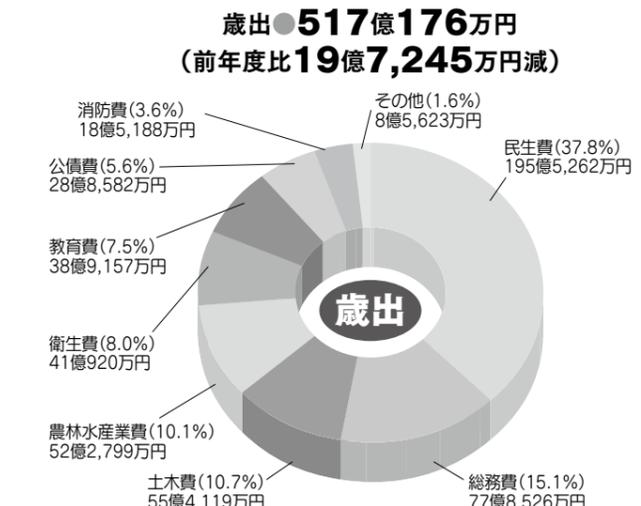
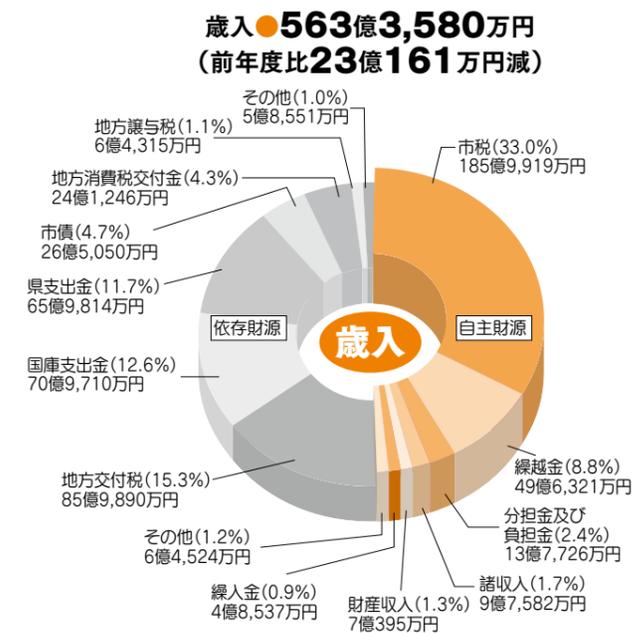
市税は個人市民税が増加した一方、税率の引下げによる法人市民税と評価替えによる固定資産税の減少で微減となり、地方消費税交付金は消費税増税により増加となりました。市債は国からの補助金等により適切な財源対策を講じ、借入額を抑制しました。総額では前年度比23億161万円減の563億3,580万円となりました。
自主財源：市税や使用料など市が自主的に集めることのできる財源
依存財源：地方交付税や国・県の補助金など、国や県などから交付される財源

歳出のポイント

防災行政無線更新事業の事業費やプレミアム付商品券発行支援事業の補助金が増加した一方、小・中学校のエアコン設置工事が完了し、小・中学校施設整備維持事業が減少したことなどで、総額で前年度比19億7,245万円減の517億176万円となりました。

平成27年度の主な事業

- 農業施策推進事業
平成26年2月の大雪被害に関する復興経費など
決算額：43億3,414万円
- 衛生センター再整備事業
し尿処理施設の再整備を実施
決算額：8億6,657万円
- 防災行政無線更新事業
防災行政無線のデジタル化など
決算額：3億3,369万円



特別会計

特定の歳入歳出を一般会計と区別して経理する会計

会計	歳入	歳出
国民健康保険	194億4,687万円	192億3,053万円
後期高齢者医療	23億3,583万円	23億3,142万円
国済寺土地区画整理	5億8,835万円	4億9,997万円
岡中央土地区画整理	1億2,673万円	1億1,584万円

企業会計

独立採算を原則として経営を行う事業の会計

水道事業（税込み）			下水道事業（税込み）		
区分	収入	支出	区分	収入	支出
収益的収支	28億4,753万円	28億3,142万円	収益的収支	34億8,703万円	33億4,285万円
資本的収支	10億3,051万円	25億2,676万円	資本的収支	15億6,223万円	23億3,759万円

※収益的収支の支出額については、現金支出を伴わないものも含まれるため、収入額より大きくなる場合があります。また、資本的収支の収入額が支出額に対し不足する額については、各会計の内部留保資金などで賄っています。

公有財産	
行政財産	土地：2,915,059㎡ 建物：375,827㎡
普通財産	土地：293,909㎡ 建物：23,126㎡
物権（地上権）	495㎡
有価証券（テレビ埼玉株券ほか）	4,355万円
出資による権利	95億3,533万円
債権	
貸付金	1億2,892万円
基金	
行政振興基金など	177億8,749万円

